

## 抗ウイルス性試験

### 1 依頼者

株式会社 ナノウエイヴ

### 2 検体

アクリル樹脂面に塗布した HM-05/SN

### 3 試験概要

JIS R 1756 : 2013「ファインセラミックス-可視光応答形光触媒材料の抗ウイルス性試験方法-バクテリオファージQβを用いる方法」により、検体の抗ウイルス性試験を行った。

ただし、検体は清浄化を行わずに試験に供した。

### 4 試験結果

結果を表-1に、次式により算出した抗ウイルス活性値( $V_{F-1}$ )を表-2に、光照射による効果( $\Delta V$ )を表-3に示した。また、試験条件を表-4に示した。

$$V_{F-1} = \log[U_{F-1} / T_{F-1}]$$

$$\Delta V = \log[U_{F-1} / T_{F-1}] - \log[U_0 / T_0]$$

$U_{F-1}$  : 対照[ガラス板]の4時間光照射後のバクテリオファージ感染価(/個)の平均値

$T_{F-1}$  : 検体の4時間光照射後のバクテリオファージ感染価(/個)の平均値

$U_0$  : 対照[ガラス板]の4時間暗所保存後のバクテリオファージ感染価(/個)の平均値

$T_0$  : 検体の4時間暗所保存後のバクテリオファージ感染価(/個)の平均値

表-1 抗ウイルス性試験結果

試験 ウイルス	測定	試験片	試験片のバクテリオファージ感染価(/個)									
			照射*1			暗所			平均値			
			測定-1	測定-2	測定-3	測定-1	測定-2	測定-3	測定-1	測定-2	測定-3	
バクテリオ ファージQβ	接種直後*2	対照	1.5×10 <sup>6</sup>	1.3×10 <sup>6</sup>	1.5×10 <sup>6</sup>	1.4×10 <sup>6</sup>	1.5×10 <sup>6</sup>	1.3×10 <sup>6</sup>	1.5×10 <sup>6</sup>	1.4×10 <sup>6</sup>	1.5×10 <sup>6</sup>	1.4×10 <sup>6</sup>
	4時間後*3	検体	<10	<10	20	13	<10	<10	<10	<10	<10	<10
		対照	2.8×10 <sup>6</sup>	2.2×10 <sup>6</sup>	3.0×10 <sup>6</sup>	2.7×10 <sup>6</sup>	5.0×10 <sup>6</sup>	4.9×10 <sup>6</sup>	4.9×10 <sup>6</sup>	5.0×10 <sup>6</sup>	4.9×10 <sup>6</sup>	4.9×10 <sup>6</sup>

バクテリオファージQβ : *Escherichia coli* phage Qβ NBRC 20012

対照 : ガラス板  
<10 : 検出せず

\*1 照射条件 : 1000 Lx, シャープカットフィルタ(タイプB)

\*2 照射及び暗所共通

\*3 室温 (25 °C ± 3 °C) 保存